

劇場留学 「モモ」と音楽の旅

出演者大募集！

募集要項

市民とプロのアーティストと一緒に劇場作品を創作する
「劇場留学」シリーズ第三弾！

今年 3 月に熱狂のうちに幕を閉じた「『モモ』と時間の旅～」から
大胆なリクリエーションで再びミヒャエル・エンデの
不朽の名作『モモ』に挑戦します。
日常とは少し違う"劇場の世界"を一緒に旅しませんか？

応募期間 7月10日(木)～7月31日(木) 郵送(必着)か窓口持込

原作：ミヒャエル・エンデ作 大島かおり訳 岩波書店刊『モモ』

Copyright © Michael Ende Estate (www.michaelende.de), represented by AVA international GmbH, Germany (www.ava-international.de)

脚本・演出・美術：川口智子

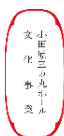
振付・出演：木原浩太 音楽：鈴木光介 演奏・出演：高橋 牧

上演日程：2026年3月27日(金)～29日(日)

上演会場：小田原三の丸ホール 小ホール

主催：市民ホール文化事業実行委員会・小田原市

制作：小田原三の丸ホール



応募の詳細は次頁以降の募集要項をご確認ください⇒

お問合せ：小田原三の丸ホール
TEL:0465-20-4152 (9:00～20:00/休:第1・3月曜※祝日の場合は翌平日)
MAIL:ooo.jigyuu@gmail.com

<企画概要>

小田原三の丸ホールでは、演劇分野の主催事業として、市民とプロのアーティストと一緒に劇場作品を創作する「劇場留学」シリーズを 2023 年より実施してきました。

第三弾となる今回は、今年 3 月に上演した「『モモ』と時間の旅」に続き、ミヒャエル・エンデの『モモ』に再び挑戦します。

一緒に作品を創作するプロのアーティストには、脚本・演出・美術を川口智子、振付・出演は木原浩太が担い、作曲は音楽家・鈴木光介、演奏・出演にミュージシャン・高橋牧、出演は俳優 2 名を新たに迎えます。

そして、公募出演者オーディションを経て、劇場に集まった皆さんと一緒に、50 年前にエンデが投げかけていた「人間の生活とは何か?」「時間とは何か」という問いと再び向き合います。原作は前回と同じエンデの『モモ』でありながら、舞台作品として新たなアプローチを行い、一味も二味も異なる魅力が溢れる、いまここでしかできない、もうひとつの『モモ』が誕生します。

舞台経験や、劇場留学の参加経験は全く関係ありません。劇場はいつでも皆さんを待っています。日常とは少しだけ違う世界で、皆さんと共に劇場留学をつくることを楽しみにしています。

『モモ』あらすじ

町のはずれ、廃墟の円形劇場にひとりで住みついた不思議な子、モモ。モモのまわりにはいつでも子どもや大人がいて、モモに話をきいてもらっていました。モモが町の人に面倒を見てもらっているように、モモも町の人たちにとってかけがえのない存在だったのです。そこへ時間どろぼうの「灰色の男たち」がやってきて、町の人たちの時間を盗み始めます。町にはゆっくりお喋りをする人も、一緒に泣いたり笑ったりする人もいなくなってしまう。町の人々の時間を取り戻すために、モモが向かった先は……。

《募集対象》

募集年齢：6 歳以上（小学校 1 年生）～何歳でも

募集人数：20 名程度

《応募資格》

- ・企画に興味を持ち、他の参加者たちと協力しながら、責任と意欲をもって最後まで一緒に舞台づくりに参加できること。
- ・決められた稽古日程および本番日程に参加できること。
- ・スタッフの指示を仰ぎながら、稽古場の準備・掃除・片付けや、舞台上で使う道具や衣裳などの管理を協力してできること。
- ・ご自身または保護者の方の送迎にて、オーディション会場、稽古場所および本番会場に通うことができること。なお、市外在住・在勤・在学でも応募可能です。
- ・電子メールでの連絡が可能であること（18 歳以下の方は保護者の代理可）。及び、電子メール等による連絡およびコミュニケーションがスムーズに行えること。

- ・顔・氏名の公表による広報活動にご協力いただけること。
- ・18歳以下(2007年4月2日以降生まれの方)は、事前に保護者の承諾を得ていること。

《オーディション参加費》

無料

※お申込み郵送費はご自身でご負担ください。

《参加費》※オーディション合格者のみ

12,000円

※オーディション、稽古、本番に参加するための交通費や宿泊費の支給はありません。

※出演料のお支払いはありません。

※チケット販売のノルマ等はありません。

《選考の流れ》

第一次審査：書類選考

2025年7月10日(木)～2025年7月31日(木)必着

選考結果は2025年8月12日(火)までに郵送でお知らせします。

第二次審査：オーディション

●日時

2025年8月23日(土)①18時～ ②19時30分～

2025年8月24日(日)③11時～ ④13時30分～ ⑤14時45分～ ⑥16時～

2025年8月25日(月)⑦11時～

会場：小田原市内(詳細は郵送する書類選考結果にてお伝えします)

※オーディション日時は、上記①～⑦の時間帯から、一次選考通過通知で指定します。

※参加不可の時間帯がある場合、応募用紙に必ずご記載ください。

※上記の時間帯ではオーディションに参加できない場合はご相談ください。

●年齢に応じてグループ分けをしてオーディションします。

A:6歳～12歳(小学生相当年齢)

B:12歳～18歳(中学生・高校生相当年齢)

C:19歳以上

●内容(1グループあたり60分)

1. 自己紹介・コミュニケーションゲーム

2. ダンス(簡単な振付を覚えて、グループで踊っていただきます)

3. 歌唱（グループで一曲歌っていただきます。ソロで歌いたい方は、グループ歌唱とは別にご自身で自由曲をご用意ください。）

グループ（課題曲）：「もみじ」、「あわてんぼうのサンタクロース」、「翼をください」

※上記の中から、当日 1 曲を指定します。

※誰もが知っていると思われる曲を選びました。

※歌詞を暗記してくる必要はありません。

ソロ（任意）：ご自身で好きな曲をご準備ください（1 分以内）

※伴奏が必要な場合は、ご自身でご準備ください。

※楽器持ち込み可能（楽器を持ち込む際は、事前にお知らせください）。

4. 特技／個人（特に披露したい特技があれば、ご準備ください）

《最終結果通知》

9 月 8 日（月）までに、郵送でお知らせします。

※選考結果についてのお問合せはご遠慮ください。

※選考の理由は合格・不合格にかかわらずお答えしかねます。ご了承ください。

※応募書類の返送はしません。応募書類は本事業以外の目的では使用しません。

《審査員》

川口智子（演出家）、木原浩太（振付家・ダンサー）、

鈴木光介（音楽家）※記録動画による審査

《申込方法》

必要事項を記載した「応募用紙」、「顔写真（バスタアップ）」、「画像・動画撮影とその使用に関する同意書」を、下記住所宛に郵送または小田原三の丸ホール窓口へご持参ください。

●申込期間

7 月 10 日（木）～7 月 31 日（木）必着

●申込み先

[郵送先] 〒250-0012 神奈川県小田原市本町 1-7-50 小田原三の丸ホール

「劇場留学」オーディション担当 宛

[窓口] 9:00～20:00 ※休館日：7/21（月）

※メールでの申込みは受付ておりません。

《主なスケジュール》 2025.6/25(水)時点

※小田原市役所、生涯学習センターけやき、小田原スポーツ会館、川東タウンセンターマロニエ、タウンニュースホール、小田原三の丸ホールを中心に、小田原市内および近郊の施設で行います。

※オーディション合格後、スケジュール調整にご協力ください。

※どうしても参加できない日時がある場合は、必ず応募用紙にご記載ください。

※スケジュールは変更になる可能性があります。

◎説明会 9/25(木)19:00~20:30

オーディション合格者の顔合せ、一緒に作品をつくっていくにあたっての心構えやスケジュール、ハラスメント対策の確認をします。

◎本読み稽古・アー写撮影 10/18(土)13:00~18:00

台本を読み、作品全体の流れを理解していきます。

公演のチラシ等に掲載する宣伝用の写真(アーティスト写真)を撮影します。

◎プレ稽古

11/29(土)、11/30(日)、12/13(土)、12/14(日)、2025.1/12(月祝)、1/17(土)
13:00~18:00

本格的な稽古に入る前に、セリフの覚え方や身体の使い方、発声の仕方等を覚えます。

◎稽古 計23回予定

1/31(土)、2/1(日)、2/7(土)、2/8(日)、2/11(水祝)、2/14(土)、2/15(日)、2/21(土)、
2/22(日)、2/23(月祝)、2/28(土)、
3/1(日)、3/7(土)、3/8(日)、3/14(土)、3/15(日)、3/16(月)、3/17(火)、3/18(水)、
3/19(木)、3/20(金祝)、3/21(土)、3/22(日)

土日祝 10:00~18:00、平日 17:30~22:00 ※中学生以下は21:00まで

※稽古の進捗によっては、時間帯が多少前後する可能性や、お休みになる場合があります。

◎舞台稽古・ゲネプロ(リハーサル)

3/24(火)、3/25(水) 17:30~22:00

3/26(木) 13:00~22:00 ※中学生以下は21:00まで

本番の会場・美術・衣裳で稽古をし、本番と同じように最初から最後までお芝居を通して稽古をします。

◎本番 3/27(金)、3/28(土)、3/29(日)

3/27(金)夜公演、3/28(土)昼公演・夜公演、3/29(日)昼公演

一緒に「劇場留学」に参加するアーティストからのメッセージ・・・・・・・・

川口 智子 (Kawaguchi Tomoco) / 演出家 Theatre director



ミヒャエル・エンデは、もともと俳優からキャリアをスタートしました。『モモ』だけでなく『サーカス物語』や『ロドリゴ・ラウバインと従者クニルプス』などを読んでも、エンデがいかに「劇場」を愛していたか、よくわかります。

エンデがもう一つ愛したものの、それは「魔法」だと思います。エンデが語る魔法の世界では、いつだって「想像力」が大事。物を動かす、空を飛ぶ、どんな魔法も、本当に望んでイメージすることが大事だと教えてくれます。

私たちが今の世界に「本当に望む」ことは何でしょう。火星に行くこと？ お金もちになること？ 動物とお話できるようになること？

いつもの生活の時間からちょっと離れて＝劇場に留学して、その場に集まった人といろんな考えを交換したり、話しをしたりしながら、私たちが本当に望んでいるのはいったい何なのか、エンデが贈ってくれた『モモ』という物語と共に旅をしてみたいと思います。

今回で3回目を迎える「劇場留学」。「初めまして！」の方も、「再び挑戦！」の方も大歓迎です。勇気があるのは最初の一步！ お待ちしています。

<プロフィール>演劇、音楽、ダンス、映画、伝統芸能などジャンルを超えた創作や、海外のアーティストとの協働企画を展開。主な演出作品にコンテンポラリー・パンク・オペラ『4.48 PSYCHOSIS』（作：サラ・ケイン、音楽：鈴木光介）。市民／公共ホールとの取り組みに「くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』（作：多和田葉子、作曲：平野一郎）、ミュージカル『回転木馬』（四日市市）など多数。0歳からの小さな劇場『海のツブ』『宇宙のヒト』や、『「エンデの遺言」を読む』『恋愛のあら（たち）断章』などの「大人の読み聞かせ」もシリーズで手掛ける。小田原三の丸ホールでは、劇場留学「お芝居をつくる7日間」「『モモ』と時間の旅」に続いて三度目。

公式ホームページ <https://www.tomococafe.com/>

木原 浩太 (Kihara Kota) / 振付家 Choreographer・ダンサー Dancer



劇場留学第三弾！としてモモがまた小田原に帰ってきます！！

帰ってくると言っても、もはや新作の予感しかありませんし、僕も同じことをやるつもりもありません。なので、前回の劇場留学に出たから、出なかったから、ではなく、ちょっとでも興味を持ったらぜひ応募してみてください！

歌もダンスも演技も未経験、けどなんか気になるな、それくらいで大丈夫です！ まずは勇気を出して新しい扉を開いてみましょう！

ダンスは練習すれば必ず上達する、ということを前回の劇場留学で改めて気付かされました。なので、ダンスが苦手、やったことないな、そんな

方こそチャレンジしてみしてほしいです！一緒に新しいモモを創り上げてくれる仲間達を募集しています！

<プロフィール>加藤みや子ダンススペースメンバー。2012年よりCo.山田うんに参加。両カンパニーの他、国内外の振付家の作品に参加。ミュージカルや商業舞台でも活躍。バレエ団やミュージカル、大学などへの委託振付、都民フェスティバルへの作品出品など振付家としても活動しており、個人作品やユニット作品での海外フェスティバルへの招聘も多数。文化庁在外研修員としてオランダ、ベルギーへ留学。日本大学総長賞、国内コンクールグランプリ6回、東京新聞制定中川鋭之助賞、現代舞踊協会奨励賞、オンステージ新聞新人振付家ベスト1など受賞多数。都内ダンススタジオや各都道府県のダンススタジオにてワークショップやクラスを開催。後進の指導にも力を入れており、指導者賞も多数受賞している。

公式ホームページ <https://kotakihara.jimdofree.com/profile-1/>

鈴木 光介 (Suzuki Kosuke) / 作曲家 Composer・音楽家 Musician



「モモ」このシンプルな、同じ音を2つ並べただけの言葉が、このお芝居のひとつの鍵です。考えてみると不思議なことです。「も」と「も」を並べただけなのに、僕はそれがこの物語の主人公の名前だとなんとなく知っています。あるいは、果物の名前かもしれません。あるいは誰かが飼っている犬の名前かも？ あるいは、あなたのあしのいちばん太い部分、そこも「もも」ですね。なんでそんなことを言うのかって？僕は音楽家、このお芝居に歌をつける人です。歌は面白いです。この「モモ」になにかの音をつけたら、それは歌になるのです。「モモ」、何がいいだろう。「ミド」かな、「レソ」かな、「ラウ」かな。まだわかりません。それはこれから考えます。そして、そのできたてほやほやの歌を、歌ってくれる人を探しているのです。もしご興味あれば、ぜひぜひ一緒に、モモの物語を歌ってください。ご応募お待ちしております。

<プロフィール>1979年、茨城県生まれ。2000年より劇団「時々自動」に参加、以降の本公演全てに出演、作曲・演奏・ダンス・パフォーマンスその他諸々を担当。トランペット、キーボード、ロゼ、ウクレレ、パーカッション等様々な楽器を演奏するマルチプレイヤー。2012年頃より外部舞台音楽等も手がける。近年の主な音楽監督作品には、ケムリ研究室『ベイジルタウンの女神』(25)、ナイロン100℃『江戸時代の思い出』(24)、日生劇場ファミリーフェスティバル『あらしのよるに』(24)など。

2024年、KERA 作品劇伴サウンドトラック集 CD『KOUSUKERA』を発売。
公式 X @kousukemusic

高橋 牧 (Takahashi Maki) / パフォーマー Performer・音楽家 Musician



劇場留学初参加、ミュージシャンの高橋牧です。ドキドキだけど、モモがいると思うと安心しちゃう。だってモモはだぶだぶのコートを着て、古い円形劇場に住み着いて、みんなの話を聞いてくれる人気者。それから時間泥棒。なんじゃそりゃ！ あぁワクワクしてきた！ そんな世界をみんなであれこれ考えて作るのかしら。

自分のでこぼこしたところこそ、舞台ではきっと光り輝く！ 歌ったり踊ったりが大好きな人も、引っ込み思案の人も、せちがらい日常に片足つつこみながらモモの世界にひょいっと遊びに来ませんか？ それは真剣な遊び！ みなさんに会えるのを楽しみにしています。

<プロフィール>2007年より劇団「時々自動」で活動、全作品に出演。アコーディオンやウクレレ、俳優、ダンス、制作などいろいろやる。

近年の外部活動は、日生劇場「あらしのよるに」の演奏出演、日生劇場「おはなしのひろば」(2021年)の作曲および演奏。また流山児祥主宰シアターRAKUの音楽劇「くるみ割り人形」(2023)、「めんどなさいばん」(2024)、「夏の夜の夢」(2025)の音楽を担当。また、都内の保育園にて手作り楽器のワークショップも行っている。

